

カーエアコンクイックチャージゲージ付き・R-134a クイックチャージ
(システム圧をチェック、または簡単なワンステップで冷媒を足します)

取扱説明

1. ポート

- a) エアコンのローサイドポートを見つけて下さい。
通常このポートは青色か黒色のダストキャップがついており、(ダッシュボード)にあるエバポレータと(エンジンの上の)コンプレッサ間におかれた大きな径のチューブにあります。ダストキャップのネジをゆるめて外して下さい。

2. 計量

- a) エンジンをスタートしてエアコンを一番低い冷却温度にセットして下さい。
- b) コンプレッサが稼動しているか確認して下さい。もし稼動していない場合、ステップ3の「充填」に進み1缶の冷媒を足して下さい。それでもコンプレッサが稼動しない場合は、専門業者に相談して下さい。これ以上冷媒を補充しないで下さい。
- c) 低圧ポートにクイックチャージを取り付けて下さい。チャージ・カプラースリーブを引き抜いてポートの上にカプラーを押し込んで下さい。スリーブをリリースしてカプラーをポートの上に固定して下さい。
- d) 圧力をチェックして下さい。圧力チェックする前に3分間エアコンを運転して下さい。診断のために圧力計チャートを参照して下さい。

3. 充填

- a) 缶を良く振って下さい。
- b) カプラースリーブを引き抜いて、低圧ポートからカプラーの接続を切り離して下さい。
- c) R-134aの缶をクイックチャージ・サービス缶バルブにしっかりとねじ込んで下さい。
缶バルブの蝶ネジを締め方向に回すと針が缶を突き通します。
缶が完全に空になるか、または中身が噴霧となって排出されるまで、サービス缶バルブから缶を外さないで下さい。
- d) エンジンを稼動しエアコンが一番低い温度になっているか確認して下さい。
- e) カプラーを再度、低圧ポートに接続して下さい。カプラースリーブを引き抜いて、カプラーをポートの上に押し込んで下さい。スリーブをリリースしてカプラーを正しい位置に固定して下さい。
- f) 冷媒をエアコンに足して下さい。R-134a 缶を垂直に保持し、頻繁にシェイクして下さい。トリガーを完全に引いて冷媒をエアコンに注入して下さい。(トリガーを引いている時、ゲージは0を示しますが、これは正常です。)
- g) 冷媒のレベルをチェックして下さい。トリガーを放してエアコンの圧力をチェックして下さい。
ゲージが0.1～0.25Mpaを読み取ると、エアコンは適正に充填されています。
R-134a 缶1個を充填して圧が上がらない場合、それ以上注入しないで専門業者に相談してください。
多くのエアコンは、空の状態からスタートして冷媒3缶以上を必要としません。
- h) チャージが終了したら、トリガーをリリースして下さい。カプラースリーブを引き抜いて、ポートからカプラーの接続を外して下さい。缶が完全に空であったら、クイックチャージから外して下さい。
- i) ダストキャップをポートの上にねじ込んで戻して下さい。

圧力計チャート

チャートに表示の圧力の読取値は、周囲温度が24℃～30℃の場合の代表的な数値です。温度が高くなると数値は高くなり、低くなると数値も低くなります。

低	0～0.1Mpa	冷媒を足す。
充填	0.1～0.25Mpa	エアコンに適正な量の冷媒が充填されている。
警戒	0.25～	冷媒を足さない。専門業者に相談する。

クイックチャージ簡単取説

エアパーズの 方法について



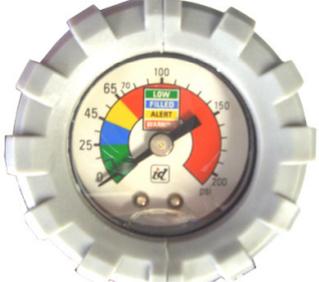
QC-1HD は、先端部のクイックカプラーがシャットオフの様設計されております。その為、クイックカプラー先端部に、エア抜きアダプターを接続した状態で販売させて頂いております。

QC-1HD 本体クイックカプラーにエアパーズアダプターを接続したまま、クイックチャージ本体に R134a サービス缶を接続して下さい。

QC-1HD 本体のトリガーを握り、134a ガスがクイックカプラーより出たら本体クイックカプラー先端に接続されていたパーズアダプターを外して下さい。ガスと一緒にエア分も放出されます。

※冷媒ガスの影響で、低温火傷を起こす可能性がありますので、ゴーグル及び手袋をご利用下さい。エアパーズアダプターを外す際に、ガス圧でアダプターが飛び出す可能性がありますので、ご注意下さい。又その際に、パーズアダプターが無くなる可能性がありますのでご注意下さい。

日本製サービス缶の 充填について



メーター表示 0 ~ 25psi : 緑色
25 ~ 45psi : 青色
45 ~ 65psi : 黄色
65 ~ 200psi : 赤色

① 圧力の確認

エンジンをスタートし、カーエアコンを始動して下さい。

次にクイックチャージを低圧ポートへ接続して下さい。

エンジンの回転を約 2000 回転まで上げ、クイックチャージのメーターを

確認して下さい。その時の圧力計の針が、**緑色**内を表示の場合は、

冷媒の充填が必要です。**青色**内を表示の場合は、適量と判断して下さい。

それ以上の場合は、過充填している可能性がありますので、御注意下さい。

② 134a サービス缶の充填準備

クイックチャージを低圧ポートより外して下さい。次にクイックチャージの

本体下部にあるサービス缶接続口へ、日本製サービス缶を良く振ってから、

しっかりねじ込み接続して下さい。これより、サービス缶の中身がなくなる

までは、サービス缶を外すことは出来ませんのでご注意下さい。

③ カーエアコンへの充填

エンジンをスタートして、エアコンを一番低い温度へ設定し、コンプレッサーが

作動している事を確認して、低圧ポートへクイックチャージを接続して下さい。

サービス缶を垂直に保持し、振りながらトリガーを握って下さい。

トリガーを握っている間は、サービス缶の中身がカーエアコンへ充填され、

トリガーの握りを緩めると充填が停まります。

ゲージの圧力を確認して下さい。(充填中、ゲージは 0 を示します。)

トリガーを放すと圧力が表示されます。圧力計の針が**青色**の範囲内ならば、

適量です。また以下、(**緑色**の範囲)の場合は再度充填作業を行って下さい。

以上の場合 (**黄色・赤色**) は過充填の可能性がありますので充填はせず、

適切な処置を行って下さい。

適量の充填が終了しましたら、低圧ポートよりカプラーの接続を外して下さい。

サービス缶の中身がなくなった場合は、クイックチャージより外し捨てして下さい。

残っている場合は、そのままクイックチャージに接続したまま保管して下さい。

注意

- 子供の手が届くところに置かないで下さい。
- 換気の悪い閉鎖された場所では作業はせず、作業時は手袋と安全メガネを着用して下さい。
- 冷媒を大気へ放出するのは法律違反です。R-12 のエアコンに使用しないで下さい。
- 他の A/C ポートに接続すべく本製品の改造は試みないで下さい。冷媒がバーストする恐れがあります。
- カンが完全に空になるまで、サービス缶バルブから外さないで下さい。
- カンの中は加圧されています。穴を開けたり、焼却したりしないで下さい。
- 直射日光と熱源の近くや 40℃ を超える温度になる場所置かないで下さい。

応急手当

- 目や皮膚にスプレー液がかかった場合は、多量のぬるま湯で洗い流して下さい。直ちに医師の手当てを受けて下さい。この製品は霜やけをおこす恐れがあります。
- 飲み込んだり、吸い込んだ場合、直ちに医師の手当てを受けて下さい。吸い込んだ場合、エピネフリン薬剤(心臓刺激剤・血管収縮または拡張剤等)を使用しないで下さい。

輸入販売元
有限会社ラグナ
山口県周南市大字久米 3076-3
TEL 0834-36-1300
FAX 0834-36-0550